



優秀・優良賞を受賞した 19 の市町の各首長が出席

令和 4 年度 健康長寿優秀市町村表彰式

8月23日(火)、埼玉県県民健康センター大ホールにおいて、健康長寿に関する優秀な取組を行った市町村を表彰する「令和4年度 健康長寿優秀市町村表彰式」が行われました。当日は、受賞した19市町の首長が出席し、大野県知事より表彰状が手渡されました。

鳩山町は専門的知見から事業のレベルアップが期待できる官学連携に力を入れており、町と連携協定を締結する日本医療科学大学と共同で「ウォーキングと認知機能向上の関係性」に関する研究を実施しました。コロナ禍において、多くの健康づくり事業が中止となる中、町では、健康に与える効果の周知を強化しつつ、事業を実施することで町民のウォーキング継続意欲を高め、健診結果や身体状況の改善、医療費削減効果等に繋がりました。

こうした活動が認められ、今年度は「優良賞」を受賞し、保険給付費等交付金500万円が交付されました。鳩山町の同賞の受賞は優秀賞及び優良賞を合わせ、7年連続となります。



◀令和3年12月に実施した、自然豊かな鳩山町北部地域を散策した「鳩山町H・Mウォーキング」の様子。町ではコロナ禍においても、感染対策を実施しながら、町民の方のウォーキング継続意欲を高める事業を行っています。

石井 憲司さんが 永年勤続農業委員等表彰 を受賞



▲写真中央：石井 憲司さん(前農業委員長)
写真右側：金子 茂雄 現農業委員長

鳩山町農業委員会の前会長である石井憲司さんが、一般社団法人埼玉県農業会議の永年勤続農業委員等表彰を受賞され、町長からの伝達式が9月5日(月)に行われました。石井さんは農業委員会委員を10年9か月務め、その間の9年1か月を農業委員長としてご尽力いただきました。

なお、同賞の受賞者は鳩山町では、初となります。

子ども大学はとやま修了式を 実施しました



▲第3回講義では、青焼き日光写真とパスタフレーム作りを行いました。

子どもの学ぶ力や生きる力などを育てるために行われている、町と地元大学等との連携事業「子ども大学はとやま」の講義を、8月20日(土)に日本医療科学大学で、9月3日(土)に山村学園短期大学で、それぞれ実施しました。

子ども大学はとやまは、コロナ禍のため3年ぶりの開催となり、今年度は講義数を6回から3回に短縮して実施しました。第3回「太陽光と葉っぱで写真を作ろう!!」では、ショートパスタなどで飾るフレーム作りと、特殊な絵の具を塗った紙に日光を当て、浮かび上がらせる青焼き写真作成を行いました。写真がうまく浮かび上がった子どもたちからは歓声があがっていました。講義後は修了式が行われ、修了証書が子どもたちに渡されました。